

令和5年度シラバス（公民）

学番7 新潟県立新潟北高等学校

教科（科目）	公民（倫理）	単位数	2	学年	3	学科	普通科
使用教科書	第一学習社 「高等学校改訂版 倫理」	副教材等					
学習目標	① 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めます。 ② 人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を深めます。						
指導の重点	学習目標の理解や考察を踏まえて、現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけます。						
学 習 計 画（50分 時数計 70 ）							
月	単 元 名	学 習 活 動（指導内容）					時数
4	第1章 青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の特質とは何かを理解する。</li> <li>・青年期は人生の中でどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。この時期の心身の特徴を把握するとともに、青年期の悩みの心理的特徴に気づき、悩むことが自己形成につながることを理解する。</li> </ul>					15
5	第2章 人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギリシャの思想家のものの見方・考え方を理解することにより、古代ギリシャの思想は、私たちにとってどのような意味をもつのかを考える。</li> </ul>					20
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教を原因とする争いを調べ、宗教とは何かについて、意欲的に考察する。</li> </ul>					
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を手がかりに、どのように生きていくべきかを学ぶ。</li> </ul>					
8	第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。</li> </ul>					15
9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを把握する。</li> <li>・国際社会に生きる日本人として、これからの自分の生き方やあり方について考える意欲を高め、今後の生き方について考える。</li> </ul>					
10	第4章 現代に生きる人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊厳にかかわる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考える。</li> </ul>					15
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自由」や「幸福」、「生きることの意義」などについての思想家達の見解を知り、それを自らの生にどう位置づけられるかを模索する。</li> </ul>					
12							
1	第5章 現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題、生命倫理など現代社会の諸課題について、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。</li> </ul>					5
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的なテーマについて、多面的な見方・考え方ができる。</li> <li>・各単元の学習内容の重点を意識して、授業中の諸活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の学習内容の意味と自身との関わりを考慮することができる。</li> <li>・資料などに基づいて、倫理的判断ができる。</li> <li>・考えたことを適切な方法で表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期における自己形成や人間としてのあり方・生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、活用し、学び方を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期における自己形成や人間としての在り方などにかかわる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。</li> </ul>			
評価方法	以上の評価基準をふまえて、 ・授業への取り組み（出欠状況、授業態度等） ・授業の課題（レポート等の提出物の提出状況、提出物の内容等） ・各学期定期考査（中間・期末）の成績などから総合的に評価する						
担当者からの一言 倫理に「確実に正しい」というような答えはありません。 先人達のさまざまな考え方を学び、自分の生き方・あり方について深く考えるきっかけにしましょう。							

